

こちら消防 119

救急車は正しく利用

消防本部 (☎83-0119)

9月9日は救急の日です

～救急車の正しい利用をお願いします～

山陽小野田市消防には、現在4台の救急車が配備されています。

近年、救急件数は著しく増加していますが、なかには、入院の準備をして歩いて救急車に乗り込んだり、タクシー料金がかからないから救急車を要請したりといった「モラルを欠くような事例」も多く見受けられます。

このような事例が続くと、本当に救急車が必要な人の命を救えなくなってしまいます。

みなさんの正しい救急車の利用をお願いします。



救急車がみなさんの命を救います



救急に関することは ☎ 83-0119 へ

夜間や休日に具合が悪くなったときなど、救急病院をお探しの場合に対応できる病院をご紹介します。



ひとひと 女と男の21世紀

老若男女共同参画による地域づくり

男女共同参画社会基本法が制定されて9年が経過した今日、「男女共同参画」という言葉も、ようやく市民権を得てきたように思います。

特に地域おこしなどの活動は、男性も女性も一緒になって地域の福祉や教育、環境等の問題に取り組む必要があり、まさに男女共同参画のひとつのあり方です。

近年、女性の元気が地域を活性化している事例が全国でも数多くみられるようになってきています。例えば、富山県のデイケアハウス「このゆびとーまれ」は、女性の看護師の方が始めたもので、子どもや高齢者、障がいを持っている方等を分け隔てなくお世話し、誰もが地域とともに暮らすという考えのもと、運営されています。この思いが広がり、やがて「富山型デイサービス推進特区」が全国展開され、このような活動が特区内に限らず、全国において実施できるようになったものです。



このように、男性も女性も老いも若きも、それぞれの能力を発揮し、得意な分野で参画することで社会を活性化させ、明るく住みやすいまちをつくっていくことにつながっていきます。

一人ひとりが自分の生き方を輝かせていくためにも、様々な分野に「チャレンジ」し、元気な地域づくりを目指しましょう。

市民活動推進課 (☎ 82-1134)



自治基本条例フォーラムを終えて

7月26日に自治基本条例フォーラムを無事終えることができました。ご参加いただいた方、手話通訳や要約筆記をしていただいたボランティアのみなさん、準備にご協力いただいた「つくる会」のみなさん、ありがとうございました。あいにく予定していましたが、参加者数は達成できませんでした。白井市長の「このまちの未来のために」と題した基調講演を皮切りに4名の市民の方を迎えてのパネルディスカッションには熱が入り、ご参加いただきました市民の方も、来年3月には誕生後4年目を迎える山陽小野田市のまちづくりと一緒に考えていただくよい機会になったのではないのでしょうか。「自治基本条例」という耳慣れない条例のことが少しでもご理解いただけたら主催者としてたいへんうれしく思います。自治基本条例は条例のなかでも最上位に位置することから、すべての計画や条例に、この条例理念との整合性が求められます。

自治基本条例の策定は「ゴール」ではなく、さらなる分権改革、まちづくりへ向けた「スタート」であると考えています。

秘書行革課
(☎ 82-1135)



▲これからのまちづくりについて、熱く議論しました。